

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No.375
令和4(2022)年9月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス
<https://www.amagasaki-library.jp/>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第31回

中原 美智子 (なかはら・みちこ)

社会福祉士



1971年大阪府生まれ。2003年に長男、2010年に双子(次男、三男)を出産。双子が1歳6か月の頃、自転車の前と後ろに乗せて転倒。後部に座席が二つ並んだ三人乗り自転車を作ろうと、メーカーへの企画提案・営業活動を自ら行った。2016年、株式会社「ふたごじてんしゃ」を尼崎市にて設立。2018年に発売され、7年越しの夢がかなった。同年、NPO法人「つなげる」(尼崎市)を設立、自身が多胎育児の難しさに直面した経験を生かし、オンライン上で相談に乗り、当事者が交流できる場を設けている。

作品紹介

「ふたごじてんしゃ物語」 苦楽堂 2022年

今までなかった自転車を考案。会社を設立し、多胎育児支援NPOを立ち上げた双子ママの物語。

「双子だから」と諦めるのではなく、自転車のデザインを変えることで外に行きたがる子どもの願いを叶えることができた体験は、様々なことを諦めることが多い双子ママに大きな自信をつけてくれるでしょう。ふたごじてんしゃ®の販売開始までどのように諦めずに進むことができたのか、振り返りながら語る。



受講生募集!



図書館ボランティア養成講座

お近くの図書館で、図書整理などの活動を行っていただくボランティアを養成するための講座を開催します。

〈講座内容〉

- 図書の分類記号について
- 書架整理の実践
- プライバシーの保護について など

地域の図書室での
図書館ボランティアは、
ご都合のよい時間に、
マイペースで活動して
いただけます。



【日時】 第1回 10月7日(金) 午前10時~12時

※第2回 10月14日(金) 午前10時~12時

【場所】 中央図書館 1階セミナー室

(※第2回は、小田北生涯学習プラザ図書室で実施します)

【対象】 2回どちらも参加できる方で、

講座修了後に地域の図書室での活動が可能な方

【申込】 9月7日(水)午前9時~ 先着15人

電話または直接中央図書館まで。TEL 06(6481)5244 FAX 06(6481)2142

中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本
教珠つなぎ

第26回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。中平 了悟さん(西正寺住職)から推薦された次の方は…

まつむら しほ
松村 史邦さん

(NPO 法人サニーサイド理事長)

『常世の舟を漕ぎて』

緒方 正人/語り 辻 信一/構成 (世織書房)



私が人生の中で大きく影響を受けた本。水俣病で父親を失い、自身も病になった緒方正人さん。国や公害企業と裁判闘争していたが、ある時、戦いから身を引き、一人会社前で座り込み対話を試み、てづくりの本舟で熊本から東京までいくといった活動をされる。その心の声、紡ぐ言葉に心が動く。「公害の本でしょうか？」という先入観をもたず手に取っていただきたい。生きる罪を否定的に捉えるだけでなく、自然と向き合いどう生きるのかを考えることができる。

次回は、当銘 英世さん(有限会社トーマー代表取締役)です。お楽しみに!

レファレンス室から

～新刊紹介～



『あいまい・ぼんやり語辞典』

(東京堂出版) 2022年7月発刊

確かさを表す多様な表現である「おそらく・たぶん・もしかして」や、つい便利に使っている「ある意味」など、日本人の特性を象徴する「あいまい・ぼんやり」を正確・的確に伝えるにはどうすればよいか。言葉とコミュニケーションを考える楽しい辞典です。

この資料は、3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

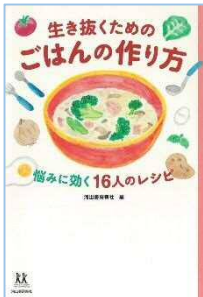
3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな本 入りました

～一般室の本棚から～

『生き抜くためのごはんの作り方』

河出書房新社／編 (河出書房新社)



中学生が生き抜くためのレシピを16人の料理研究家たちが紹介。不安、ストレス、緊張、風邪、便秘、食欲不振などの悩みを料理で解決するキッカケをくれます。料理研究家たちの思春期時代の悩みや苦労話も書かれていて、温かい気持ちになります。

『呑み込まれた男』

エドワード・ケアリー／著

古屋 美登里／訳 (東京創元社)



ピノッキオを探して巨大な魚に呑み込まれたジュゼッペは、そこにあった朽ちかけた船で発見した航海日誌に、自分の来し方を綴っていく。暗闇の中、孤独なジュゼッペ老人は何を思い、何を綴ったのか。著者によるイラストも多数収録されています。

こんな質問がありました！

尼崎市の「自転車のまちづくり推進事業」について知りたい



尼崎市ホームページでは「自転車のまちづくり推進条例」施行についての文書がオンライン公開されています。また**尼崎市議会会議録検索システム**で「自転車」をキーワードに検索すると、条例制定の経緯がわかる議会会議録をインターネットで読むことができます。冊子資料としては『**地域研究 10号**』(地域問題研究会)などで、阪神淡路大震災の際の活用をきっかけに増えた放置自転車問題等に、尼崎市が取り組んできた経緯がわかりました。

『初めて書籍を作った男 アルド・マヌーツィオの生涯』

アレックスandro・マルツォ・マーニョ／著

清水 由貴子・訳 (柏書房)



今からおよそ500年前、活版印刷技術の発明から半世紀後のヴェネツィアを舞台に、出版の世界に大変革を巻き起こしたアルド・マヌーツィオ。現在も使われている【目次】や【索引】などの書籍の体裁の発明は、たった一人の人物によって生み出されたのだった。

『明日へのペダル』

熊谷 達也／著 (NHK出版)



50代半ばの会社員・本間優一は健康のためにロードバイク(本格的なスポーツ用自転車)に乗るようになる。部下の指導を受けて、優一のロードバイク技術はめきめき向上していく…。直木賞作家が、ロードバイク愛を込めて描く物語。心に沁みます。

9月の図書館カレンダー



| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |

開館時間 **9:00~20:00**

※ □ 印は休館日です。

※ ○ 囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。

朗読の会 おはなし玉手箱

対面朗読ボランティア 花みずき

日時 9月13日(火) 午後2時~3時
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 「子供のキモチは」「悔恨の記」
(『九十歳。何がめでたい』より)
佐藤 愛子/作 ほか

※10月は休館日のため、お休みです。



◆おはなしの会

14:10~14:25 子ども(0~3歳くらい)と保護者

14:30~14:50 4歳くらい~小学生と保護者

14:55~15:15 小学生



●コアラくらぶ

11:00~11:20 0~3歳と保護者

平和教育推進事業ミニ展示

子どもたちと沖縄戦

~ 沖縄復帰50年 ~



期間: 9月28日(水)まで 場所: 2階 エントランス

2022(令和4)年5月15日、沖縄は本土復帰からちょうど50年を迎えました。この節目の年に、沖縄戦に関する資料の展示を行います。沖縄戦から本土復帰までの歴史をたどるとともに、学童疎開船「対馬丸」の悲劇や、戦場に動員された学徒隊、戦禍の中を生き抜いた戦争孤児など、戦争に巻き込まれた子どもたちについての資料を紹介します。

※貸出できる関連本も集めています!

担当者のつづやき

旧暦の8月15日の夜(十五夜)に見える月を「中秋の名月」と呼びます。2022年は9月10日がその日にあたります。今年の「中秋の名月」はちょうど満月ですが、中秋の名月はいつも満月になるとは限りません。満月を愛でながら、読書ができれば最高ですね。(M.Y)



10月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 | | | | | |